

月刊 **TENGA** 2021
2.25
第三十四号

特集

2015
▼
2020

性と報道、その変遷
性の一丁目一番地にせまる

月刊 TENGA web版はこちら

<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>



性はどんな風に語られるようになった？

「報道」の内容とその変遷から探ってみた

「性を表通りに 誰もが楽しめるものに変えていく」をビジョンに掲げる株式会社TENGAが設立されたのは2005年。当時、性の話といえば、いやらしいとか、いかがわしいといった猥雑なイメージの中に包含されがちで、それがゆえに「どんな話題であれ、性に関する話を出すのははばかれる」という時代でした。

ですが近年では、セクシュアリティや生理などの社会課題を皮切りに、タブー視されがちだった性の情報を目にする機会も増えてきました。そして、性の悩みの解決方法や、正しい性知識など、性を誰もが楽しむための情報も、少しずつ表通りに登場してきていると感じます。

そんな中、性に関する様々な報道は、近年どのように変化していったのかを探りました！

尚、本レターに記載の情報は、グラフ画像素材を含め、ご自由にお使いいただけます。

その際は、「出典：月刊TENGA 第34号」とお書き添えください。

可能な限り、<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>へのリンクも掲載いただけますと有難いです。

画像ダウンロードURL：<https://www.tenga.co.jp/gekkan/gekkantenga34.zip>

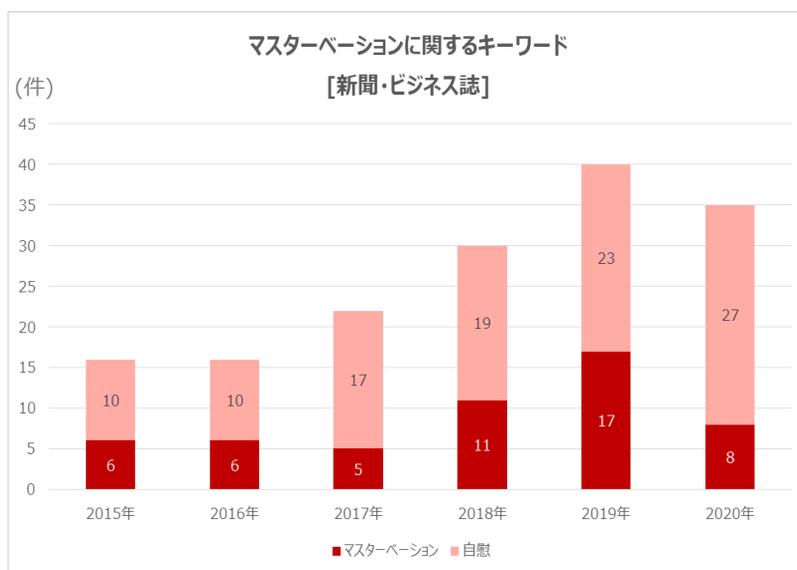
Chapter

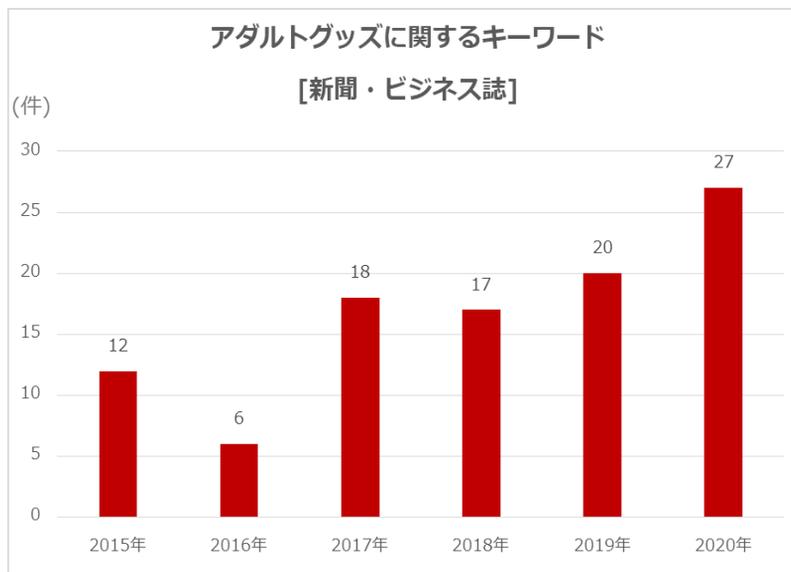
1

性の報道量から見る変遷

2015年から2020年の、「新聞」と「ビジネス誌（およびそのオンライン版）」「TV」における、キーワードごとの報道件数推移を調べました。

【1】「マスターベーション」「アダルトグッズ」に関するキーワードは、2015～2020年で2倍以上に増加





検索ツール：日経テレコン
 キーワード：(上)「マスターベーション」「自慰」
 (下)「アダルトグッズ」
 期間：各期間 1月1日～12月31日
 対象媒体：本号の末尾にまとめて記載

★「マスターベーション」「自慰」の報道傾向は、医療目線での啓発から「楽しむための性」への広がりを見せる

2015年に計16件だったマスターベーションに関する報道は、2019年に40件、2020年に35件と、**2倍以上に増えています**。

2015年頃は、誤った方法のマスターベーションが引き起こす、射精障害の危険性についての記事が散見され、内容は医療専門家のコメントを通しての啓発情報がほとんどでした。

スマートフォンの普及率が高まった2020年になると、マスターベーションに関する医学的な知識を紹介する同様の記事の中に、「ネット」や「アプリ」といったキーワードが登場するようになりました。
 若年層に対して、**ネットの中で氾濫する誤った情報**に気をつけるよう呼びかけたり、正しい知識を得る方法を伝えたりする必要性が、時代とともに高まったことを反映していると言えます。

また、TENGAは2019年、女性向けブランドirohaは2018年に、それぞれ百貨店進出を果たしています。
 この時期になると、全国紙朝刊で、「マスターベーションは自然なことである」ことが紹介され、病気などの深刻な悩みだけでなく、「前向きに楽しむもの」としての性の側面にも光が当たりはじめており、アダルトグッズ（プレジャーアイテム）が紹介されるケースも増えていました。

▶ マスターベーションに関する報道の例：

- ・朝日新聞デジタル：(オトナの保健室) 女性の体、タブーに挑む 女子組(2018/11/20)
- ・毎日新聞デジタル：思春期に伝えたい性の知識(2019/10/13)

▶ 参考情報：

- ・2018年8月22日(水)、iroha初の百貨店進出 大丸梅田店でポップアップストアをオープン
<https://www.value-press.com/pressrelease/206082>
- ・2019年3月15日(金)、初となる百貨店での常設店舗がオープン。TENGA STORE TOKYO：
<https://tenga-store.com/>

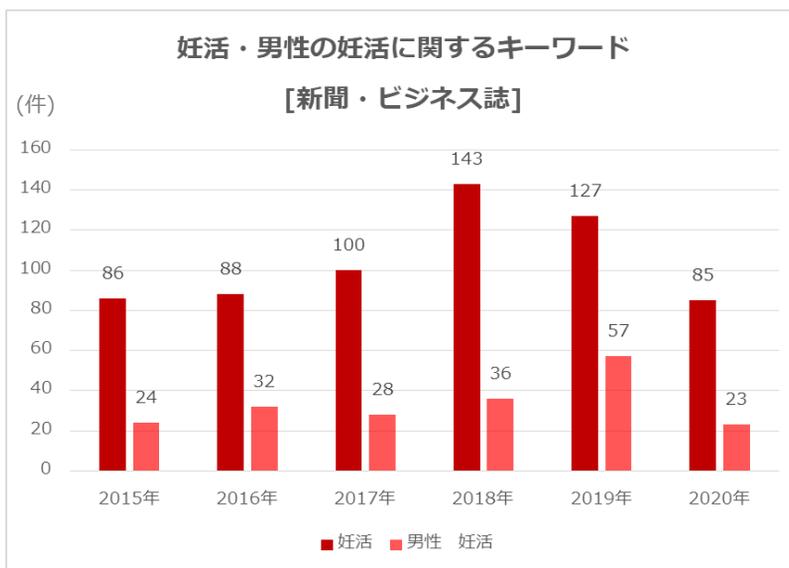
【2】「男性の不妊」に関するキーワードは、2015～2020年で増加傾向にあるものの、妊活を扱った記事の中で「男性」にフォーカスしたものは、約半分～4分の1程度にとどまる

近年では、不妊治療は女性だけの問題ではなく、男性もともに向き合うものだとする論調も広まりつつあります。
 映画やドラマの世界でも、深田恭子と松山ケンイチ主演ドラマ『隣の家族は青く見える』（2018年・フジテレビ系）や、松重豊と北川景子が年の差夫婦を演じた映画『ヒキタさん！ ご懐妊ですよ』（2019年）など、夫婦での妊活がテーマの作品が相次いで公開されました。

▶ 本件に関するお問い合わせ先

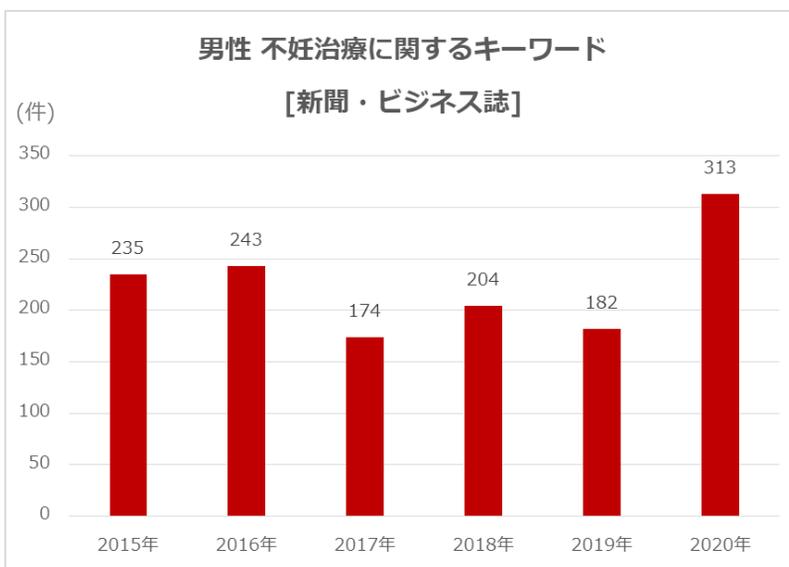
月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内
 TEL：03-6416-3268 / FAX：03-6416-3269 / MAIL：tengapr@publicgood.co.jp 担当：森下、金子、中尾

このように、「妊活」という言葉自体はすでに市民権を得ており、世の中に定着しているようです。一方で、年によってまちまちではあるものの、「妊活」を扱った記事のうち、「男性」という語句が登場する記事は、約半分～4分の1程度にとどまっています。不妊の原因の半分は男性にあると言われていたにもかかわらず、まだまだ「男性の妊活」については、十分に情報が行き渡っていないかもしれません。



検索ツール：日経テレコン
 キーワード：「妊活」「男性 妊活」
 期間：各期間 1月1日～12月31日
 対象媒体：本号の末尾にまとめて記載

そんな中、「男性 不妊治療」についての報道数は盛り上がりを見せています。2020年に政府が「不妊治療の保険適用を2022年4月からスタートし、男性も対象となる」という内容の発表を行ったことが背景にあります。2020年9月23日放送のNHK『あさイチ』では、「子どもにどう教える？「性」の話」という特集の中で、「間違ったマスターベーションが男性の不妊症の原因にも」という内容で、マスターベーションの正しい知識の啓発と、男性の妊活に触れています。



検索ツール：日経テレコン
 キーワード：「男性 不妊治療」
 期間：各期間 1月1日～12月31日
 対象媒体：本号の末尾にまとめて記載

▶ 男性の妊活に関する報道の例：

- ・NHK『あさイチ』：子どもにどう教える？「性」の話 (2020/09/23)
- ・読売新聞オンライン yomiDr. (ヨミドクター)：不妊と向き合う(3) 男性も早めの検査を…高校保健で「加齢リスク」説明 (2018/09/07)
- ・東洋経済オンライン：男性不妊を引き起こす「精巣周りのコブ」の正体 (2020/12/26)

▶ 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内
 TEL：03-6416-3268 / FAX：03-6416-3269 / MAIL：tengapr@publicgood.co.jp 担当：森下、金子、中尾

▶参考情報：

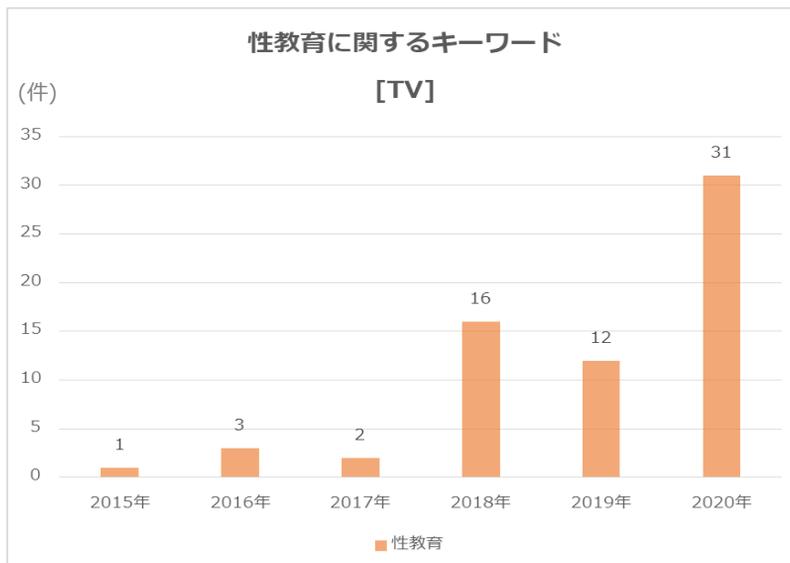
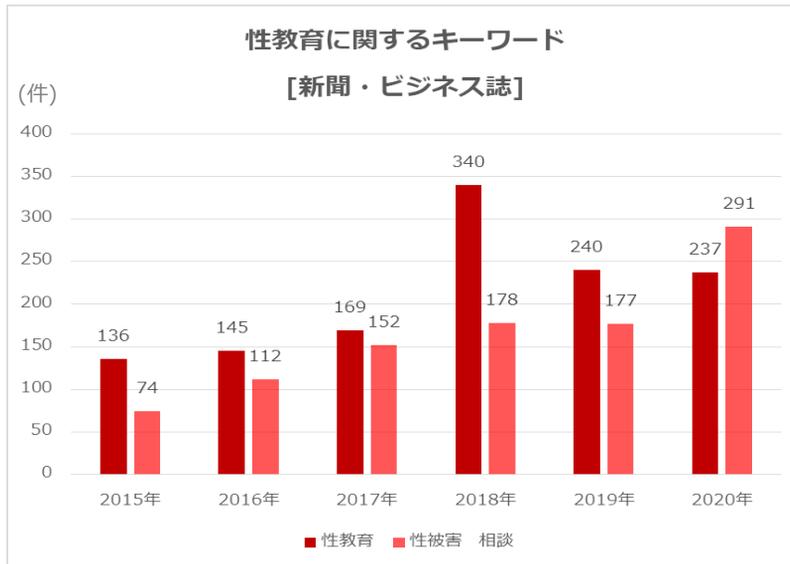
・月刊TENGA第12号「男こそ知りたい、妊活のいろは。」

<https://www.tenga.co.jp/topics-archives/2019/05/07/9316/>

・TENGAヘルスケア『男の活力』をサポートする「活力支援サプリメント」

<https://thcstore.tenga.co.jp/katsuryoku-a>

**【3】「性教育」に関する報道は、2015～2020年で約1.7倍に増加。
2018年をきっかけに、学校教育だけでなく、様々な場所から発信される性教育に注目が集まる**



検索ツール：(上) 日経テレコン
(下) TVパブリシティサポート「エヌ×ケン」

キーワード：「性教育」「性被害 相談」
期間：各期間 1月1日～12月31日
対象媒体：本号の末尾にまとめて記載

「性教育」に関する報道がぐっと増えたのが、2018年。

東京都足立区の中学校で行われた授業を巡り、都議が「不適切な性教育」と批判したことをきっかけに、全国紙・TVともに報道量が増加していました。

また2020年に入って、新型コロナウイルス感染拡大に伴い若年層の妊娠相談が増えたことや、緊急避妊薬の薬局での販売を政府が検討に入ったことをきっかけに、特にTVでの「性教育」に関する報道が増加し、民放の朝の番組で10分以上の特集が放送されるなど、急速に広がっていたことが分かりました。

▶ 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内

TEL：03-6416-3268 / FAX：03-6416-3269 / MAIL：tengapr@publicgood.co.jp 担当：森下、金子、中尾

また、近年の特徴として、学校現場だけでなく、企業・NPO法人が発信するポータルサイトや、SNSなどを介した情報発信も増え、**家庭などの学校以外の場における性教育**にも注目が集まっています。

助産師で性教育チューバーの「シオリヌ」さんの動画は、**最大388万回再生**を記録しており(2021年2月18日現在)、人には聞きづらい「性」の情報が、いかに必要とされているかを裏付ける数と言えるでしょう。

TENGAのグループ会社であるTENGAヘルスケアでも、2019年より中高生向け性教育サイト「セイシル」を運営しています。

▶性教育に関する報道の例：

- ・毎日新聞デジタル：新型コロナ 休校、増える10代の妊娠相談 動画で正しい知識配信(2020/07/11)
- ・日本テレビ『スッキリ』：日本の性教育は遅れている!? お悩み続出 我が子への性教育(2020/02/06)
- ・TBS『グッとラック!』：注目・幼い頃から始める性教育とは？(2020/01/28)
- ・フジテレビ『FNN Live News days』：子どもを守ろう2・性被害を防ぐ教育(2020/07/24)

▶参考情報：

・「セイシル」性の悩みにこたえるサイト

<https://seicil.com/>

・月刊TENGA 第3号「専門家に聞いた、TENGAが踏み込む実践的な性教育のハナシ」

<https://www.tenga.co.jp/topics-archives/2018/07/23/6867/>

Chapter

2

まとめ <編集後記>



マーケティング本部 国内コミュニケーショングループ
西野美美

私が広報としてTENGAに入社したのは、2017年2月のことでした。

その頃は、まだ性分野を「日常の延長線上にあるもの」として捉えた報道は少なかったと記憶しています。

私より前に入社した女性の広報スタッフは「製品説明のためにメディアの編集部に向った時、『君は脱げるの?』と聞かれた」と話していましたし、「性＝エロ＝男性を喜ばせるもの」という認識が、今よりも社会の前提にあったと感じます。

状況が変わってきたのは、2018年頃でした。百貨店にirohaのポップアップストアがオープンし、さまざまな年齢層の女性が店舗を訪れる様子がテレビで報道され、大きな話題となりました。

TENGAグループに関するご取材も、男性不妊や性教育などの最低限の性知識にとどまらず、最近ではセルフプレジャーそのものの心地よさを肯定する文脈や、フェムテックというテーマでお声がけいただくことが増えました。

こうした変化から、性分野を「エロ」や「おもしろおかしいもの」という側面だけではなく、「生活に根ざしたもの、性別問わず誰にとっても大切なもの」という側面から捉える報道姿勢が増えてきているのを、肌で感じます。

TENGAやirohaの常設店では、お客様から「誰にも言えずに悩んでいたけど、悩みを打ち明けられてよかった」という声をたくさんいただきます。

TENGAヘルスケアが展開する性教育サイト「セイシル」には、俗説や誤った知識を信じてしまい、周囲にも相談できずに悩む中高生からの相談が多く寄せられます。

ここから読み取れるのは、情報共有の場がなく、適切な知識を身につけづらいからこそ悩みを抱え込んでしまう人が多いということです。性に関する報道が増えれば、それを見聞きした人が適切な知識を身につけ、然るべき人や場所に悩みを相談できる機会も増えると思います。そうしてより健やかに性を楽しめる人が増えることを、心から願っています。

調査に使用した検索ツール ※検索ワード、対象期間は各トピックスに記載

①日経テレコン 対象媒体

■新聞系：日本経済新聞朝刊 / 日本経済新聞夕刊 / 朝日新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / 産経新聞 / 北海道新聞 / 河北新報 / 東京新聞 / 中日新聞 / 西日本新聞

■雑誌系：日経ビジネス / 週刊東洋経済 / 東洋経済オンライン / 週刊ダイヤモンド / プレジデント / プレジデントオンライン

②TVパブリシティサポート「エヌ×ケン」 対象媒体

関東で視聴可能な民放キー局のテレビ番組(AM3:00-5:00までの時間帯を除く)

▶ 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内

TEL : 03-6416-3268 / FAX : 03-6416-3269 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp 担当 : 森下、金子、中尾

■ 阪急メンズ東京で開催中のロケット展が延長！ 貴重な資料を多数展示

TENGAロケットプロジェクトの始動を記念した展示会「TENGA ROCKET STORE」がご好評につき、3月31日(水)まで延長しました！
阪急メンズ東京6階(東京都千代田区)にて、約2mサイズのTENGAロケットのレプリカや、ロケット機体の部品など、ここでしか見られない貴重な資料を展示しています。
また、TENGAロケットプロジェクトの記念グッズもお買い求めいただけます。
URL : <https://tenga-store.com/news/1522/>



■ iroha初の使い切りプレジャーアイテム「iroha petit」が登場！

女性向けセルフプレジャーアイテムブランド“iroha”は、3月3日(水)に、iroha初の使い切りアイテムでぶるんとした新感触が魅力の「iroha petit」を発売いたします。
また発売を記念して、一般女性4名へのインタビュー記事「はじめてのセルフプレジャー体験記～ココロとカラダが変わった日～」をサイト内で公開します。

URL : <https://iroha-contents.com/column/2970.html>



iroha petit



は、TENGAの製品やニュースだけでなく、性にまつわる様々な情報を定期的に提供するニュースレターです。

“面白おかしさ”を大切にしつつも、性と真正面から向き合い、真面目に作り続けてきたTENGAだからこそ発信できる、硬軟様々な情報を届けます。様々な文献や歴史、そして人物、市場情報など多様なリサーチと開発を継続し、皆様により意義と価値のある情報を提供できればと考えています。性に関するストレスが少しでも軽減されたり、親しい誰かに相談するきっかけを作ったりと、性の悩みを和らげられる社会づくりへの貢献をめざします。

月刊TENGA バックナンバー	https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/
TENGA 公式オンラインストア	https://store.tenga.co.jp
TENGA コーポレートサイト	https://tenga-group.com
画像のダウンロードはこちら	https://www.tenga.co.jp/gekkan/gekkantenga34.zip

※本レターに記載の情報は、画像素材を含め、ご自由にお使いいただけます。その際は、出典として、【月刊TENGA 第34号】とお書き添えください。

▶ 商品や株式会社TENGAに関するお問い合わせ先

TENGA マーケティング本部 国内コミュニケーショングループ 広報チーム
TEL : 03-5418-5590 担当:本井はる

▶ 月刊TENGAに関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内 TEL : 03-6416-3268 / FAX : 03-6416-3269
MAIL : tengapr@publicgood.co.jp 担当: 森下、金子、中尾